

インターポート

兵庫教育文化研究所だより

No.192

2018年6月28日

発行所 兵庫教育文化研究所
〒650-0004

神戸市中央区中山手通 4-10-8

楽しく学ぶ「外国語活動」

教育課程部会
授業研究会

教育課程部会が養父市の小学校において授業研究会をおこないました。6年生の「外国語活動」の授業で「三人称 (She/He) について出会う」という内容でした。授業校では、子どもたちが英語によるコミュニケーションそのものを楽しく感じることができ、外国語教育のとりくみをおこなっています。また、「ひらかれた学校」として、地域の方々を対象としたALTによる外国語の講座もおこなわれています。当日は、講座を受講されている地域の方も授業を参観されました。



授業は、担任とALTとのT.Tの形でおこなわれました。まずALTが子どもたち一人ひとりに英語で声をかけた後、「Hop on pop」(アメリカの絵本)をALTのリードの下に読んでいきました。その際、「リズムボックス」を用いることでリズムに乗って楽しく活動することができました。本時の内容である「She/He」についての導入の場面では、代名詞を使うことの便利さを考えることで、子どもたちの意欲はさらに高まっていきました。その後、子どもたちは各自が授業参観者の中から2人を選び、「Can you〜?」を用いて英語でインタビューしていきました。授業のまとめでは、ALTが映像を用いながらネイティブな発音で「She (He) can〜。」の表現を紹介し、子どもたちはALTに続いて元気よく楽しく発音することができました。45分間、子どもたちが笑顔で生き生きと活動する姿が印象的でした。

授業後の研究会では、参観者から「担任とALT、そして子どもたちとの関係が良好であり、それが子どもたちが楽しく学ぶ姿につながっている」「授業の流れ(導入→出会い→対話→定着・発展→振り返り)が確立されており、見ていて安心感があった」「子どもたちは英語によるコミュニケーション活動を十分楽しんでいた」といった意見が出されました。また、外国語活動の教育課程上の工夫として、「移行期間はク



ラブ・委員会のない週に増えた15時間分の授業をおこなっていること」

「音楽・体育・総合学習の時間や短時間学習にも外国語に親しむ活動を位置づけていること」が挙げられ、カリキュラム・マネジメントの観点から教育課程が編成されていることが伺えました。

協力研究所員からは「子どもたちとALTがよくふれあっている。ALTとの心のふれあいが今後、異文化理解につながっていく」「このような内容の外国語活動を続けていけば英語ざらいの子どもは出てこないであろう」という話がありました。学校の環境面の整備も含め、地域全体でとりくんでいこうとする姿が感じられる一日でした。

今後も兵庫教育文化研究所・教育課程部会では、子どもたちを中心にすえたわかる授業・楽しい学校づくりをめざして研究を続けていきます。

(本授業の指導案は「組合員専用ページ」に掲載しています。ID、パスワードは各組合へお問い合わせください。)